



男子決勝 浦添一仲西 前半、浦添の石原直弥が高い打点から8点目のシュートを決める=ANAアリーナ浦添(金城健太撮影)

浦添制覇 後半勢い エース躍動 サイド機能

中学新人ハンド
ハンドボールの第17回浦添市長杯争奪第48回県中学生新人大会最終日は11日、ANAアリーナ浦添で行われ、男子決勝は浦添が仲西を31-23で破って10年ぶり

6度目、女子決勝は仲西が浦西を25-16で制して2年ぶり10度目の優勝を飾った。
男女優勝校は春の全国中学生選手権(3月26、29日、富山県)の出場権を得た。

【男子】		【女子】	
浦	仲	浦	仲
添	西	西	西
31	21	15	20
1912	17	10	15
1013	浦	美	神
23	美	美	美
仲	美	美	美
西	東	西	東
仲	神	西	東
西	森	西	東
25	21	1411	15
1411	15	1115	16
1115	美	16	浦
16	浦	西	東
西	東	東	森

浦添が激しい守備でボールを奪い、仲西を31-23で振り切った。高い位置の守備は序盤、隙間を割られて12-13で折り返し。後半は上がり過ぎないよう修正し、フォロアし合うと流れが変わった。攻撃では171センチの長身で左利きのエース石原直弥が、強気のロングやステツプシュートをがんがん発射。マークが石原に集まったところを左サイドから比嘉灼孟らが突いて7分すぎに逆転し、その後は速攻も連続して圧倒した。計14得点の石原は「一点を取ることに自信がいた」

浦添が激しい守備でボールを奪い、仲西を31-23で振り切った。小学生時代に強豪チームに所属した選手はいない。湧永製菓や琉球コラーソで選手経験のある名嘉伸明監督が昨年4月に就任して以降、生活面から鍛え直された。12月の地区大会では神森など強豪を次々と撃破。この大会も初戦の2回戦で3連覇中の神森を1点差で破り、快進撃につながった。決して大きくないチームを率いる山城東悟主将は「このまま全国でも優勝したい」とラットワークで頂点を目指す。

(富山県)



男子優勝の浦添

仲西 堅守速攻V

仲西が堅守速攻を貫き、浦西を25-16で圧倒。1点差の辛勝だった地区大会決勝から成長の跡を見せた。

足止めず流れ呼ぶ

6得点の野底は「地区大会ではロングが打てなかったけど、この大会では打って盛り上げることができた」とエースの役割を果たして安堵(あんど)。同じく6得点の又吉叶主将は「毎日3キロ以上走ってきた」と胸を張りながら、全国制覇へ思いを描いた。

⑤女子決勝 仲西-浦西 前半、仲西の野底桃伽が速攻で9点目のシュートを決める⑥女子を制した仲西

